


はじめに

「気道異物による窒息」とは、たとえば食事中に食べ物が気道に詰まるなどで息ができなくなった状態をいいます。

大切なことは、窒息を予防することです。高齢者、乳児には、食べ物を細かくきざんで食べさせるようにしましょう。


1歳未満

1歳以上16歳未満

目安としてはおよそ中学生までを含む

年齢

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16


 次の手順へ 

1 心臓マッサージ（胸骨圧迫）と人工呼吸

心肺蘇生は成人と同様、心臓マッサージ（胸骨圧迫）30回と人工呼吸2回の組み合わせを絶え間なく続けます。

- 胸の厚みの約1/3沈む深さまで強く圧迫します。
- 成人と同様、人工呼吸ができる場合は、気道を確保し人工呼吸を2回行います。
- 胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を交互に行います。



乳児（1歳未満）の場合

両乳頭部を結ぶ線の少し足側を目安とする胸の真ん中を、2本指で押します。



小児（1歳以上16歳未満）の場合

体格が大きければ、成人同様に両腕で胸骨圧迫を行ってもよい。



2 AEDの使い方

AED の使用手順は、成人における手順と同様ですが、小児用パッドや小児用モードがある場合、未就学児には小児用パッド・小児用モードを使用して下さい。



AEDの小児用パッド・小児用モード

ある時

傷病者が乳児を含めた
未就学児と推測される
ときに使用します。

ない時

成人用パッド、成人用モード
を使用して下さい。

※成人用パッドを用いて小児用モードを使用する場合、小児用パッドより大きいので、パッドが触れ合わないようして下さい。



お問い合わせ

日本医師会地域医療第一課

chiiki_1@po.med.or.jp

誠に恐れ入りますが、万が一電子メールでの返信ができなかった場合に備え、お問い合わせの際はお名前やご連絡先を明記していただきますようお願いいたします。
いただいた個人情報は、お問い合わせへの返信以外には使用いたしません。